

基本方針2

生涯スポーツ活動の推進

青色の網掛け箇所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得うる内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価													
① ライフ ステー ジに 応じ た 事 業 の 推 進		健康推進アプリ「BIWA-TEKU(ビワテク)」	健康増進課	実施主体	草津市		実施計画										
				関係団体等			目標	健康づくりに対する関心の高まり、生活習慣改善に向けた行動変容のきっかけづくりやモチベーションの高まりにつなげる。									
				事業内容	市民の積極的な健康づくりを促進するため、けん診の受診や、健康講座への参加等、健康づくりに関する取り組み状況に応じてポイントを付与し、貯まったポイントで賞品の抽選に応募ができる。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
							区分	継続		継続		継続		継続		継続	
				成果	ビワテクアプリ利用者を増やすため、3か月に1回3つ以上の市内ウォーキングコースを作成し提供した。また、健康に関するイベント参加時にポイントが付与されるように他事業と連携し、運動習慣に関する啓発を行った。その結果、アプリダウンロード数の増加に繋がった。		計画	ビワテクアプリダウンロード数 3,000人 (R3.1.1～R3.12.31)		ビワテクアプリダウンロード数 3,500人 (R4.1.1～R4.12.31)		ビワテクアプリダウンロード数 4,000人 (R5.1.1～R5.12.31)		ビワテクアプリダウンロード数 4,500人 (R6.1.1～R6.12.31)		ビワテクアプリダウンロード数 5,000人 (R7.1.1～R7.12.31)	
				課題	草津市内累計ダウンロード者数は増加しているが、今年度ポイントを取得していないユーザーが半数以上を占めている。アプリの継続利用が増えるように協賛事業所や他事業と連携し、啓発資材が市民の目に触れる機会を増やしていく必要がある。			実績	ビワテクアプリダウンロード数 (総数) 3,429人 ポイント付与期間1月～12月 抽選応募期間1月		ビワテクアプリダウンロード数(総数)4,135人 ポイント付与期間1月～12月 抽選応募期間1月						
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった												
				ウォーキング推進事業	スポーツ推進課	実施主体	スポーツ推進委員協議会、くさつ健・交クラブ		実施計画								
		関係団体等	立命館大学、ボランティアガイド協会 他			目標	誰でも気軽に取り組むことができるウォーキングを通じて、市民の健康づくりに対する機運の高まりにつなげる。										
		事業内容	年間を通したウォーキング事業等を開催し、ウォーキングを通じた健康づくりを推進するとともに、年齢に応じたウォーキングや、ウォーキングを通じて交流ができる環境づくりを行う。			年度	R3		R4		R5		R6		R7		
						区分	継続		継続		継続		継続		継続		
		成果	コロナ禍ではあるが、感染症対策を図りながら実施した。歩こう会では、参加者は1回あたり100名を超える回もあり、徐々に元通りの活動へ戻っていると実感する1年だった。また、毎週のサークル活動とともに、ノルディックウォーキング体験会の実施や、地域における出前講座を開催するなど、普及に努めた。			計画	○歩こう会の実施回数:年12回 ○ノルディックサークルの実施回数:年38回		○歩こう会の実施回数:年12回 ○ノルディックサークルの実施回数:年38回		○歩こう会の実施回数:年12回 ○ノルディックサークルの実施回数:年38回		○歩こう会の実施回数:年12回 ○ノルディックサークルの実施回数:年38回				
		課題	より多くの市民がウォーキングやノルディックウォークに親しみ、継続して実施してもらえるような工夫を行う必要がある。				実績	○歩こう会 6回 ○ノルディックサークル 33回		○歩こう会 11回 ○ノルディックサークル 33回							
		評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった														
		親子で参加できる各種スポーツ教室 (再掲)	スポーツ推進課			実施主体	草津市スポーツ振興事業体		実施計画								
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会		目標	スポーツを通じて、親と子のつながりを深めるとともに、親の子育てへの参画意識の醸成につなげる。									
				事業内容	親子で参加できる各種スポーツ教室を開催し、家族ぐるみで運動・スポーツに取り組むことができる機会の充実を図る。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
							区分	継続		継続		継続		継続		継続	
				成果	乳幼児の親子を対象としたスポーツ教室を開催することで、スポーツの重要性や楽しさを伝えることができた。また幼児向けには、夏休み親子サッカー教室、夏休み子どもテニス教室、新春親子サッカー教室、新春親子テニスを企画し募集を行ったが、夏休み子どもテニス教室以外はコロナ禍および雨天のため中止となった。しかしながら応募については定員を上回っていたため、親子でのスポーツ需要が見込まれると推察される。		計画	乳幼児児期対象 4教室 児童期対象 2教室		乳幼児児期対象 4教室 児童期対象 2教室		乳幼児児期対象 4教室 児童期対象 2教室		乳幼児児期対象 4教室 児童期対象 2教室			
				課題	計画していた児童対象の2教室が総合体育館の改修工事により開催が出来なかった。また、屋外競技が多く、天候に左右される。			実績	乳幼児児対象 4教室 ・親と子の体操教室(春・秋) ・幼児サッカー教室(春・秋) 児童対象 2教室 小学生スポーツ教室(春・秋・冬) ・夏休みジュニアスポーツ教室		乳幼児児対象 1教室 ・親と子の体操教室(春・秋) 児童対象 4教室 ・新春親子サッカー教室 ・夏休み親子サッカー教室 ・夏休み子ども運動教室 ・未就学児サッカー教室(月4回)						
				評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった												

基本方針2

生涯スポーツ活動の推進

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得うる内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価											
(１) ライフステージにあわせた健康づくりの推進	② 気軽に参加できるスポーツや健康づくり事業の推進	草津市民スポーツ・レクリエーション祭	スポーツ推進課	実施主体	体育振興会連絡協議会					実施計画					
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会					目標	身近にスポーツを感じられる機会の充実を図るとともに、スポーツを通じた世代間の交流につなげる。				
				事業内容	子どもから高齢者までみんなでスポーツを楽しむことができるニュースポーツ等を実施し、市内14学区の連携と親睦を図り、生涯スポーツの普及と発展、市民の健康促進を図る。	年度	R3		R4	R5	R6	R7			
						区分	継続		継続	継続	継続	継続			
				成果	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったものの、コロナ禍でも実施できるような方法を模索し、検討を進めた。	計画									
				課題	コロナ禍でも開催できる工夫を実践し、今後は、見えてきた改善箇所を改善しながら、市民のスポーツの機会を確保し続けることが必要である。										
				評価	3	実績	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止							
					5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった										
		草津川跡地公園での健幸イベント	健康福祉政策課	実施主体	草津市					実施計画					
				関係団体等	草津まちづくり会社					目標	働く世代や元気な高齢者、子どもたちなど幅広い世代に対して、健康づくりや運動のきっかけづくりを図る。				
				事業内容	子どもから高齢者まで、幅広い世代に対して健康づくりや運動のきっかけづくりを進めるとともに、健康拠点である草津川跡地公園の賑わい創出を図るため、健幸イベントを実施する。	年度	R3		R4	R5	R6	R7			
						区分	継続		継続	継続	継続	継続			
				成果	バスケット教室等の新しい企画を実施したことから、昨年度よりも多くの方に参加いただけ、市民の健幸づくりに寄与することができた。	計画	イベントの参加人数 800人	イベントの参加人数 1,000人以上	イベントの参加人数 1,000人以上	イベントの参加人数 1,000人以上	イベントの参加人数 1,000人以上				
				課題	継続した健幸づくりのために、今後もイベント等で啓発をする必要がある。										
				評価	3	実績	・健幸フェア 参加者 748人	・健幸フェア 参加者 1,267名							
					5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった										
	老人クラブ活動支援	長寿いきがい課	実施主体	草津市					実施計画						
			関係団体等	老人クラブ連合会					目標	社会福祉の増進を図り、明るく活力のある高齢社会の実現を目指す。					
			事業内容	老人クラブ連合会主催の「健康フェスティバル」等の高齢者が気軽に参加できる事業を支援し、高齢者の健康づくりの機会の充実を図る。	年度	R3		R4	R5	R6	R7				
					区分	継続		継続	継続	継続	継続				
			成果	高齢者の健康づくりの機会の充実を図るため、ノルディック・ウォーキングを活用した「健康ウォーキング」等の高齢者が気軽に参加できる事業の支援を行った。その結果、明るく活力のある高齢社会を実現させようとする機運の高まりにつながった。	計画	健康フェスティバル、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会の開催を支援する。	健康フェスティバル、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会の開催を支援する。	健康フェスティバル、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会の開催を支援する。	健康フェスティバル、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会の開催を支援する。	健康フェスティバル、健康ウォーキング、グラウンドゴルフ大会の開催を支援する。					
			課題	会員数が減少していることから、引き続き、老人クラブのPRについて、老人クラブ連合会と連携して力を入れていく必要がある。											
			評価	3	実績	・健康ウォーキング(6月、11月、1月) ・ニュースポーツ体験会(10月、11月、12月)	・健康ウォーキング(6月、11月、1月) ・ニュースポーツ体験会(10月、11月、12月) ・グラウンドゴルフ大会(7月)								
				5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった											

基本方針2

生涯スポーツ活動の推進

青色の網掛け個所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得る内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりでなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価													
③ 高齢者が気軽に 参加できる事業の 推進	③ 高齢者が気軽に 参加できる事業の 推進	キラリエ草津☺健幸大 学	長 寿 い き が い 課	実施主体	草津市		実施計画										
				関係団体等			目標	高齢者の介護予防や社会参加を推進し、高齢者の元気で健康な暮らしにつなげる。									
				事業内容	高齢者が気軽に運動や栄養・口腔、認知症など、様々な分野について学べる機会を提供し、自ら介護予防に取り組むとともに、支援者としての活動や地域での自主活動につなげる。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
							区分	新規		継続		継続		継続		継続	
				成果	広く周知を行ったことにより、新たに参加される方が増加した。参加者自身の意識向上だけでなく、健幸大学で学んだ内容を地域の活動で普及啓発されるなど、地域への情報発信としての役割も果たすことができた。		計画	高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数 24回		高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数 24回		高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数 24回		高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数 24回		高齢者の社会参加の場を設け、介護予防への取り組みを支援する。 講座開催数 24回	
				課題	事前申込不要であるため、気軽に参加しやすい講座である一方、会場規模や参加人数に応じた職員の配置が難しいこと、広く高齢者が介護予防に取り組めるよう身近な地域で学べる機会を考えていく必要がある。			実績	◆講座開催数 22回 (緊急事態宣言下のため、2回講座開催中止)		◆講座開催数 24回						
				評価	3		5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりでなかった 1:取り組まなかった										
		いきいき百歳体操	長 寿 い き が い 課	実施主体	草津市		実施計画										
				関係団体等			目標	身体を動かすことにより高齢者の介護予防を推進し、高齢者の元気で健康な暮らしにつなげる。									
				事業内容	いきいき百歳体操等の軽運動の普及・促進により、地域ぐるみで高齢者の介護予防を推進する。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
							区分	継続		継続		継続		継続		継続	
				成果	感染予防対策を講じながら、活動団体への継続支援や新規団体の立ち上げ支援を行った。その結果、新たに2団体が活動を開始したり、いきいき百歳体操以外の活動に取り組まれるなど、活動団体の活性化が図れた。		計画	地域においていきいき百歳体操に関する取り組みを実施する。		地域においていきいき百歳体操に関する取り組みを実施する。		地域においていきいき百歳体操に関する取り組みを実施する。		地域においていきいき百歳体操に関する取り組みを実施する。		地域においていきいき百歳体操に関する取り組みを実施する。	
				課題	参加者・団体代表者の高齢化等が課題である。普及啓発の方法や、実施場所について更なる検討が必要である。			実績	実施団体数 125団体		実施団体数 127団体						
				評価	3		5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりでなかった 1:取り組まなかった										
	④ ウ ー キ ン グ の 推 進	ウ ー キ ン グ の 推 進 事 業 (再掲)	ス ポ ー ツ 推 進 課	実施主体	スポーツ推進委員協議会、くさつ健・交クラブ		実施計画										
				関係団体等	立命館大学、ボランティアガイド協会 他		目標	誰でも気軽に取り組むことができるウォーキングを通じて、市民の健康づくりに対する機運の高まりにつなげる。									
				事業内容	年間を通したウォーキング事業等を開催し、ウォーキングを通じた健康づくりを推進するとともに、年齢に応じたウォーキングや、ウォーキングを通じて交流ができる環境づくりを行う。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
							区分	継続		継続		継続		継続		継続	
				成果	コロナ禍ではあるが、感染症対策を図りながら実施した。歩こう会では、参加者は1回あたり100名を超える回もあり、徐々に元通りの活動へ戻っていると実感する1年だった。また、毎週のサークル活動とともに、ノルディックウォーキング体験会の実施や、地域における出前講座を開催するなど、普及に努めた。		計画	○歩こう会の実施回数:年12回 ○ノルディックサークルの実施回数:年38回		○歩こう会の実施回数:年12回 ○ノルディックサークルの実施回数:年38回		○歩こう会の実施回数:年12回 ○ノルディックサークルの実施回数:年38回		○歩こう会の実施回数:年12回 ○ノルディックサークルの実施回数:年38回		○歩こう会の実施回数:年12回 ○ノルディックサークルの実施回数:年38回	
				課題	より多くの市民がウォーキングやノルディックウォークに親しみ、継続して実施してもらえるような工夫を行う必要がある。			実績	○歩こう会 6回 ○ノルディックサークル 33回		○歩こう会 11回 ○ノルディックサークル 33回						
				評価	3		5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりでなかった 1:取り組まなかった										

基本方針2

生涯スポーツ活動の推進

青色の網掛け個所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得うる内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価													
⑤ ランニングの普及	びわ湖レイクサイドマラソン	スポーツ推進課	実施主体	大会実行委員会		実施計画											
			関係団体等	滋賀県、滋賀県陸上協会		目標	誰もが気軽に参加できるランニングイベントを開催し、ランニングによる健康づくりの普及につなげる。										
			事業内容	「びわ湖レイクサイドマラソン」等のマラソン事業を通じて、ランニングの普及を図り、健康づくりに対する機運の高まりにつなげます。		年度	R3		R4		R5		R6		R7		
						区分	継続		継続		継続		継続		継続		
			成果	県主導で、新しいフルマラソン大会に生まれ変わり、びわ湖マラソン大会として開催となった。		計画	びわ湖レイクサイドマラソンの開催		びわ湖レイクサイドマラソンの開催		びわ湖レイクサイドマラソンの開催		びわ湖レイクサイドマラソンの開催		びわ湖レイクサイドマラソンの開催		
			課題	従来のびわ湖毎日マラソンとは異なり、市民向けのマラソン大会であることから、より多くの方が気軽に参加できるよう様々な距離の設定が必要かと考えられる。また、交通規制の関係から折り返し地点が多いため、改善の提案をしていく必要がある。			実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの開催		びわ湖マラソンとして開催 参加者 6,332人							
	評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった															
	⑥ 健康推進員による体操の普及啓発	くさつ健康はつらつ体操	健康増進課	実施主体	健康推進員連絡協議会		実施計画										
				関係団体等			目標	地域におけるくさつ健康はつらつ体操の普及と促進に努め、市民の健康増進につなげる。									
				事業内容	地域のまつりや運動会、ふれあいサロン等において「くさつ健康はつらつ体操」を行い、体操の普及・促進に努め、市民の健康保持・増進を図る。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
							区分	継続		継続		継続		継続		継続	
				成果	健康推進員が中心となり地域で「くさつ健康はつらつ体操」を行い、市民の健康保持・増進につながった。また、幅広い市民に「くさつ健康はつらつ体操」を知ってもらえるように働きかけることができた。		計画	くさつ健康はつらつ体操等を活用し、地域において運動啓発を実施する。		くさつ健康はつらつ体操等を活用し、地域において運動啓発を実施する。		くさつ健康はつらつ体操等を活用し、地域において運動啓発を実施する。		くさつ健康はつらつ体操等を活用し、地域において運動啓発を実施する。		くさつ健康はつらつ体操等を活用し、地域において運動啓発を実施する。	
課題				コロナ禍のため、「くさつ健康はつらつ体操」を周知できる場や実施活動回数が少なくなっている。次年度も、感染症対策を講じ、市民の健康保持・増進のため、「くさつ健康はつらつ体操」を工夫して啓発していく必要がある。		実績		くくさつ健康はつらつ体操＞ 地域のイベント等で体操を実施した回数 3回 健康推進員出勤人数 20人 市民の参加人数 88人 市YouTube視聴回数 341回 (R.4.5.20現在)		くくさつ健康はつらつ体操＞ 地域のイベント等で体操を実施した回数 4回 健康推進員出勤人数 25人 市民の参加人数 95人 市YouTube視聴回数 692回							
評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった																
① スポーツ	チャレンジスポーツデー	スポーツ推進課	実施主体	草津市		実施計画											
			関係団体等	スポーツ協会、体育振興会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員、立命館大学		目標	様々なスポーツを体験できる機会を提供することで、市民のスポーツ活動機会の充実を図る。										
			事業内容	市内の社会体育施設等で誰もが参加できるスポーツイベントを開催し、市民の健康づくりと市民相互の交流を図る。		年度	R3		R4		R5		R6		R7		
						区分	継続		継続		継続		継続		継続		
			成果	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったものの、競技団体や各学区、立命館大学と連携して、市内の社会体育施設等で誰もが参加できるスポーツイベントを開催し、市民の健康づくりと市民相互の交流を図る取り組みを進めた。		計画	参加者数3, 500人		参加者数3, 700人		参加者数4, 000人		参加者数4, 500人		参加者数5, 000人		
			課題	コロナ禍でも開催できる工夫を行うとともに、参加者が年々減少傾向であることから、各実施団体が内容を見直すことで、より気軽に参加できる環境を整える必要がある。			実績	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		新型コロナウイルス感染症の影響により中止							
	評価	3 5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった															

基本方針2

生涯スポーツ活動の推進

青色の網掛け個所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得うる内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価															
(2)「する」「みる」「支える」「知る」スポーツの参加促進	活動機会の充実	親子で参加できる各種スポーツ教室(再掲)	スポーツ推進課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体				実施計画										
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ、スポーツ推進委員協議会				目標	スポーツを通じて、親と子のつながりを深めるとともに、親の子育てへの参画意識の醸成につなげる。									
				事業内容	親子で参加できる各種スポーツ教室を開催し、家族ぐるみで運動・スポーツに取り組むことができる機会の充実を図る。				年度	R3		R4		R5		R6		R7	
									区分	継続		継続		継続		継続		継続	
				成果	乳幼児の親子を対象としたスポーツ教室を開催することで、スポーツの重要性や楽しさを伝えることができた。また幼児向けには、夏休み親子サッカー教室、夏休み子どもテニス教室、新春親子サッカー教室、新春親子テニスを企画し募集を行ったが、夏休み子どもテニス教室以外はコロナ禍および雨天のため中止となった。しかしながら応募については定員を上回っていたため、親子でのスポーツ需要が見込まれると推察される。				計画	乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室		乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室		乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室		乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室		乳幼児期対象 4教室 児童期対象 2教室	
				課題	計画していた児童対象の2教室が総合体育館の改修工事により開催出来なかった。 また、屋外競技が多く、天候に左右されるのも課題である。					実績	乳幼児対象 4教室 ・親と子の体操教室(春・秋) ・幼児サッカー教室(春・秋) 児童対象 4教室 ・小学生スポーツ教室(春・秋・冬) ・夏休みジュニアスポーツ教室		乳幼児対象 1教室 ・親と子の体操教室(春・秋) 児童対象 4教室 ・新春親子サッカー教室 ・夏休み親子サッカー教室 ・夏休み子ども運動教室 ・未就学児サッカー教室(月4回)						
				評価	3		5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった												
	②初心者向けスポーツ教室の開催促進	初心者向け等各種スポーツ教室事業	スポーツ推進課	実施主体	草津市スポーツ振興事業体				実施計画										
				関係団体等	スポーツ協会、くさつ健・交クラブ				目標	スポーツへの出会いやきっかけづくりのほか段階的な事業展開により、スポーツ文化の醸成およびその定着化につなげる。									
				事業内容	初心者向けや段階的なステップアップを目的としたスポーツ教室の開催を促進し、スポーツ機会の充実とスポーツ愛好者の裾野の拡大を図る。				年度	R3		R4		R5		R6		R7	
									区分	新規		継続		継続		継続		継続	
				成果	コロナ禍ではあったものの、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、スポーツの楽しさを感じる機会を提供できた。				計画	初心者向けスポーツ教室 13教室 段階的なステップアップ教室4教室		初心者向けスポーツ教室 13教室 段階的なステップアップ教室4教室		初心者向けスポーツ教室 13教室 段階的なステップアップ教室4教室		初心者向けスポーツ教室 13教室 段階的なステップアップ教室4教室		初心者向けスポーツ教室 13教室 段階的なステップアップ教室4教室	
				課題	今後も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、気軽に参加していただけるような工夫や周知を行う。					実績	○初心者向けスポーツ教室 ・少年少女スポーツ教室 5教室(ほか、2教室はコロナで中止) ・市スポーツ協会主催(サッカー以外コロナで中止、野球、テニス、剣道) 5教室 ○段階的なステップアップ教室 ・初級・中級教室 テニス4教室		○初心者向けスポーツ教室 ・少年少女スポーツ教室 7教室 ・市スポーツ協会主催(サッカー、ソフトテニス、バレーボール、野球、剣道) 5教室 ○段階的なステップアップ教室 ・初級・中級 テニス4教室						
				評価	3		5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった												
	③「する」「みる」「支える」「知る」様々な「かたち」でのイベント参画機会の提供	スポーツの多様な関わり方周知啓発事業	スポーツ推進課	実施主体	草津市				実施計画										
				関係団体等	草津市スポーツ振興事業体、スポーツ協会、くさつ健・交クラブ				目標	周知啓発等により、それぞれ自分にあった関わり方で親しむことができる市民のスポーツ参画機会の充実を図る。									
				事業内容	各種スポーツイベントのさらなる周知啓発を図るとともに、多様なスポーツの価値を知ってもらうための周知啓発を併せて図る。また、多様なスポーツの関わり方で参画する機会を提供する。				年度	R3		R4		R5		R6		R7	
									区分	新規		継続		継続		継続		継続	
				成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業が中止になったものの、広報くさつや各団体ホームページなど、こまめな周知啓発に取り組んだ結果、市民のスポーツ参画機会の充実につながった。				計画	広報くさつ掲載 21回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載 市ほか3団体		広報くさつ掲載 22回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載 市ほか3団体		広報くさつ掲載 22回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載 市ほか3団体		広報くさつ掲載 22回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載 市ほか3団体		広報くさつ掲載 23回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載 市ほか3団体	
				課題	広報くさつの記事のページ数が削減され簡略化される傾向があることから、記事のスペース確保に取り組むとともにインターネットなどの代替手段の活用をより積極的に行っていく必要がある。					実績	広報くさつ 23回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載 市ほか3団体		広報くさつ 27回／年 市ほか関係団体ホームページ掲載 市ほか3団体						
				評価	3		5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった												

基本方針2

生涯スポーツ活動の推進

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得る内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価													
(3) 食育による健康づくりの推進	① 子どもの食育の推進	離乳食レストラン	子育て相談センター	実施主体	健康推進員連絡協議会		実施計画										
				関係団体等			目標	子育てを行う保護者が、離乳食の進め方を習得するとともに、保護者同士の交流により、それぞれが持つ育児不安の解消につなげる。									
				事業内容	子育てを行う保護者が、離乳食のレシピや時期に応じた調理方法、栄養バランス等に関する食育について学び、保護者同士の交流や情報交換を行う。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
				区分	継続		継続		継続		継続		継続				
				計画	離乳食レストラン 21回/年の開催		離乳食レストラン 21回/年の開催		離乳食レストラン 21回/年の開催		離乳食レストラン 21回/年の開催		離乳食レストラン 21回/年の開催				
				成果	感染症対策を講じ、計画通り実施できた。離乳食の固さ等を触ることによって体験してもらい、離乳食の進め方を習得してもらえるよう支援した。また、離乳食の与え方についてイメージを持ってもらいやすいように、新たな動画も作成しホームページに公開した。		実績	年間19回実施 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2回中止)		年間21回実施							
		課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため試食を中止していたが、参加者により具体的な離乳食についてのイメージをもってもらうため、感染状況を考慮しながら、早期に試食の再開を検討する必要がある。														
		評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった													
		食育の推進	学校給食センター	実施主体	草津市		実施計画										
				関係団体等			目標	食生活について意識の醸成を図り、心身の健全育成に努める。									
				事業内容	学校での栄養指導を行うとともに、児童等の家庭における食生活について意識の醸成を図るため啓発を行う。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
				区分	継続		継続		継続		継続		継続				
	計画			栄養指導や啓発活動を実施する。		栄養指導や啓発活動を実施する。		栄養指導や啓発活動を実施する。		栄養指導や啓発活動を実施する。		栄養指導や啓発活動を実施する。					
	成果			食生活について意識の醸成を図るため、栄養教諭による各小中学校での栄養指導や給食だよりの配布を実施した。その結果、学校給食の取り組みや児童等の家庭における食生活について意識の醸成を図ることができた。		実績	・コロナ禍であることから栄養指導は資料の配付とした。 (14小学校) ・啓発活動 11回 (児童等へ給食だよりの配付、HP掲載)		・栄養教諭による栄養指導の実施。 (14小学校、2中学校) ・啓発活動 11回 (児童・生徒等へ給食だよりの配付、HP掲載)								
	課題	よりよい指導や啓発に向けて内容の充実を図るために、今後の指導・啓発についてさらに検討していく必要がある。															
	評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった														
	② 高齢者の食育の推進	草津歯・口からこんにちは体操	長寿いきがい課	実施主体	草津市		実施計画										
				関係団体等			目標	食べることにより高齢者の介護予防を推進し、高齢者の元気で健康な暮らしにつなげる。									
事業内容				草津歯・口からこんにちは体操の普及・促進により、食べることを通じて、高齢者の健康な体づくりにつなげる。		年度	R3		R4		R5		R6		R7		
区分				継続		継続		継続		継続		継続					
計画				地域において草津歯・口からこんにちは体操の取り組みを実施する。		地域において草津歯・口からこんにちは体操の取り組みを実施する。		地域において草津歯・口からこんにちは体操の取り組みを実施する。		地域において草津歯・口からこんにちは体操の取り組みを実施する。		地域において草津歯・口からこんにちは体操の取り組みを実施する。					
成果				感染予防対策を講じながら、活動団体への継続支援や新規団体の立ち上げ支援を行った。その結果、新たに5団体が取組みを始める等、健康づくりへの意識の高まりや、取組継続につながった。		実績	実施団体数 101団体		実施団体 106団体								
課題				参加者・団体代表者の高齢化や新型コロナウイルス感染症拡大に伴い活動を休止している団体があるため、体制の維持・推進について工夫する必要がある。													
評価				3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった												

基本方針2

生涯スポーツ活動の推進

青色の網掛け個所を記入してください。

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得うる内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりでなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策	具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価													
(４) 体育振興会活動の充実	① 学区単位のス ポ ー ツ 活 動 の 充 実	地域スポーツイベントの 開催	ス ポ ー ツ 推 進 課	実施主体	各体育振興会		実施計画										
				関係団体等	各スポーツ推進委員		目標	地域のスポーツ活動の活性化により、地域内の交流や学区間の連携強化につなげる。									
				事業内容	学区運動会をはじめとした地域の各種スポーツイベントの活性化を図る。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
							区分	継続		継続		継続		継続		継続	
				成果	各地域で、運動会を実施した学区があったため、体育振興会連絡協議会で開催競技や開催方法について情報共有を行った。ニュースポーツ体験をはじめとしたスポーツイベントを開催し、スポーツを通じた地域内交流の機会づくりに向け取り組みを行った。		計画	学区運動会の開催や、チャレ ンジスポーツデー等の開催		学区運動会の開催や、 チャレンジスポーツデー 等の開催		学区運動会の開催や、 チャレンジスポーツデー 等の開催		学区運動会の開催や、 チャレンジスポーツデー 等の開催		学区運動会の開催や、 チャレンジスポーツデー 等の開催	
				課題	コロナ禍における実施の工夫を図るとともに、地域によっては、若い世代の参加者が少ない状況等があるため、開催日やプログラム等を工夫し、より多くの方が参加しやすい環境づくりを行う必要がある。			実績	・学区運動会:新型コロナウ イルス感染症の影響により中止 ・チャレンジスポーツデー:新 型コロナウイルス感染症の影響 により中止		学区運動会の開催や、 新型コロナウ イルス感染症の影響により 中止となった学区もあつた が、開催方法や開催時間を 工夫し実施した学区もあつた ため、体育振興会連絡協議 会で情報共有を行った。 ・チャレンジスポーツデー:中止						
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりでなかった 1:取り組まなかった											
	② 地域ス ポ ー ツ ク ラ ブ の 支 援	地域スポーツクラブ設 立支援事業	ス ポ ー ツ 推 進 課	実施主体	草津市		実施計画										
				関係団体等	各体育振興会、各スポーツ推進委員		目標	地域スポーツクラブの設立により、市民が身近にスポーツができる環境づくりにつなげる。									
				事業内容	市民が身近にスポーツができる環境を整えるため、学区単位の地域スポーツクラブ設立の支援を行う。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
							区分	継続		継続		継続		継続		継続	
				成果	学校開放事業の運営支援など設立後の支援を通じて、組織の安定化に努めた。		計画	設立クラブ数 5クラブ		設立クラブ数 5クラブ		設立クラブ数 6クラブ		設立クラブ数 7クラブ		設立クラブ数 8クラブ	
				課題	まだクラブを設立していない地域に働きかけを行うとともに、既存のクラブについて、持続可能なクラブ運営ができるよう、運営の在り方について考える機会の創出を図る必要がある。			実績	設立クラブ数 5クラブ (対象学区:6学区)		設立クラブ数 5クラブ (対象学区:6学区)						
				評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりでなかった 1:取り組まなかった											
	(５) 総合型地域ス ポ ー ツ ク ラ ブ 活 動 の 活 性 化	① 総合型地域ス ポ ー ツ ク ラ ブ の 支 援	総合型地域スポーツク ラブ事業補助金	ス ポ ー ツ 推 進 課	実施主体	草津市		実施計画									
					関係団体等	くさつ健・交クラブ		目標	くさつ健・交クラブの活発な活動により、市民が多様なスポーツ活動を行える環境づくりにつなげる。								
事業内容					くさつ健・交クラブの活動基盤を強化するための支援を行い、活発な活動を促進し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツメニューの提供やスポーツができる環境を整える。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
							区分	継続		継続		継続		継続		継続	
成果					コロナ禍により会員数は伸び悩んだものの、運営補助を通じてクラブの運営体制を強化し、活動の促進につなげた。		計画	会員数:600人		会員数:630人		会員数:660人		会員数:690人		会員数:720人	
課題					運営や事業の見直し等により持続可能なクラブとするための体制強化に努める必要がある。			実績	会員数:561人		会員数:556人						
評価					3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりでなかった 1:取り組まなかった											

基本方針2

生涯スポーツ活動の推進

※当面の間、評価基準を次の通り読み替える。5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た(計画以上に準備行為等を行い、かつ顕著な成果を得うる内容だった。) 4:計画以上にできた(計画以上の準備行為等を行っていた) 3:計画どおりできた(計画どおりの準備行為等を行っていた) 2:計画どおりできなかった(計画どおりの準備行為等を行えなかった) 1:取り組まなかった ※括弧内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業の全部または一部が実施できなかった場合等に適用する。

施策		具体的な取組	事業名	担当課	点検・評価												
(6) 障害者スポーツの推進	① 障害者が参加するスポーツイベントの支援・充実	障害者スポーツの推進	障害福祉課	実施主体	心身障害児者連絡協議会		実施計画										
				関係団体等			目標	障害のある人の体力向上と社会参加を促進する。									
				事業内容	全国障害者スポーツ大会の開催を契機として、障害者団体と連携して開催する「草津市いきいきふれあい大運動会」等の事業を推進し、障害者のスポーツ事業の充実を図るとともに、だれもが楽しみ、交流できる機会の創出を図ります。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
							区分	継続		継続		継続		継続		継続	
				成果	新型コロナウイルス感染症により実施できなかったが、各関係機関と連携を図ることで、事業を実施できる体制を整えた。		計画	各年度の参加人数600人以上		各年度の参加人数600人以上		各年度の参加人数600人以上		各年度の参加人数600人以上		各年度の参加人数600人以上	
				課題	新型コロナウイルス感染症への不安が残る中で、安全かつ参加しやすい手法等を検討していく必要がある。												
	評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった		実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止		新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止									
	② 草津市立る障害者福祉センター等との連携による	滋賀県障害者スポーツ大会	障害福祉課	実施主体	滋賀県障害者スポーツ協会		実施計画										
				関係団体等			目標	障害者スポーツの裾野の拡大と競技力の向上を図る。									
				事業内容	各種関係団体等と連携し、スポーツに取り組む選手の滋賀県障害者スポーツ大会への参加を支援する。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
							区分	継続		継続		継続		継続		継続	
				成果	関係団体等と連携し、参加の支援を行った。その結果、障害者スポーツの競技力向上につながった。		計画	各年度、大会参加者50人以上		各年度、大会参加者50人以上		各年度、大会参加者50人以上		各年度、大会参加者50人以上		各年度、大会参加者50人以上	
				課題	障害者スポーツの競技人口を増やすため、魅力などを広くPRする必要がある。												
	評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった		実績	参加者数 21人		参加者数 21人									
	② 施設のユニバーサルデザイン化等の推進	社会体育施設等整備改修事業	スポーツ推進課	実施主体	草津市		実施計画										
				関係団体等			目標	社会体育施設の適正な機能を維持していくことで、誰もが快適にスポーツができる環境を整える。									
				事業内容	スポーツができる場所として社会体育施設の適正な機能維持やユニバーサルデザイン化に向けた必要な改修等を行う。		年度	R3		R4		R5		R6		R7	
							区分	継続		継続		継続		継続		継続	
				成果	総合体育館屋根・床板改修工事を行ったほか、同工事に合わせて点状・線状ブロックの改修なども行った。また、老朽化した野村グラウンドのバックネットや健康広場の藤棚、常盤東健康広場のフェンスなどについて改修工事を行った。		計画	必要な整備・改修 ・野村運動公園管理棟外部階段改修工事		必要な整備・改修 ・総合体育館屋根・床板改修工事 ・野村運動公園グラウンド管理棟空調取替工事 ・ふれあい体育館管理室空調改修工事		必要な整備・改修 ・体育施設空調設備改修工事 ・野村運動公園グラウンド管理棟改修工事 ふれあい体育館床・外壁他改修工事		必要な整備・改修		必要な整備・改修	
				課題	市内社会体育施設の機能維持のみならず、経年により老朽化が進む付帯施設や、現存の施設への改善要望に対しての対応等を計画的に実施し、より市民が利用しやすい施設にしていける必要がある。												
	評価	3	5:計画以上にでき、かつ顕著な成果を得た 4:計画以上にできた 3:計画どおりできた 2:計画どおりできなかった 1:取り組まなかった		実績	・野村運動公園管理棟外部階段等塗装補修 ・総合体育館大屋根固定ボルトキャップ部のシーリング修繕 ・総合体育館屋根・床板改修実施設計		・総合体育館屋根・床板改修工事 ・野村運動公園グラウンド管理棟・ふれあい体育館管理室空調改修工事 ・野村グラウンドバックネット改修工事 ・山寺健康広場藤棚撤去工事 ・常盤東健康広場フェンス改修工事 ほか									